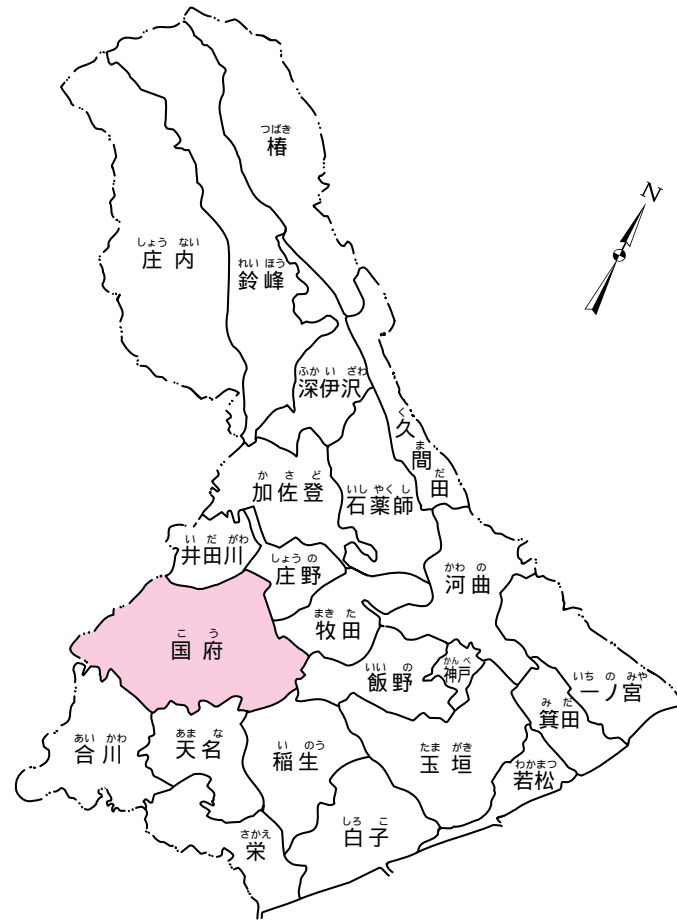


集落形成による評価単位

- 八野町
- 国府町北一色
- 国府町西ノ野
- 国府町西ノ城戸
- 国府町上・下区
- 国府町新町
- 平野町
- 国府町国府台
- 国府町赤坂
- 住吉一丁目
- 住吉二丁目
- 住吉三丁目
- 住吉四丁目
- 住吉五丁目



● 地区の特色・沿革等

当地区は、亀山市に隣接し、地区北部を鈴鹿川が西から東に流下している。旧海軍施設に企業誘致が進み、工業生産とともに農業生産も活発な地区であり、本田技研工業の関連施設を中心とした地域と古くから農業を中心としてきた地域、住宅開発地域といった大別ができる。

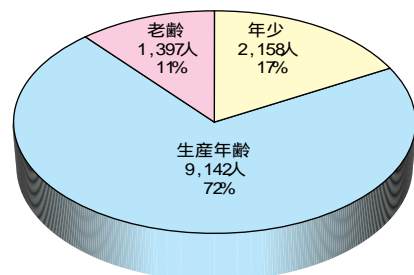
また、王塚古墳を代表に府南寺などの歴史資産を多くかかえる地区である。

● 地形・地盤等

当地区の地形は、八野町・国府台・赤坂・鈴鹿サーキットの一角が東西にかけて標高40程度の山地・丘陵で、北に向かって高位段丘・低位段丘を形成している。これらの地形以外には、一部扇状地平野が鈴鹿川以南の水田地帯に存在しているが、ここでも沖積層の深さは最大で10m以下の地区である。

地盤の分類は、山地・丘陵が第1種地盤、その他は第2種地盤である。

● 人口関連指標



平成10年1月1日現在

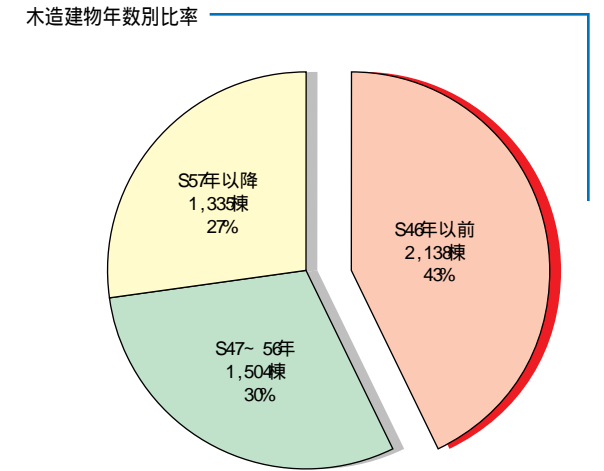
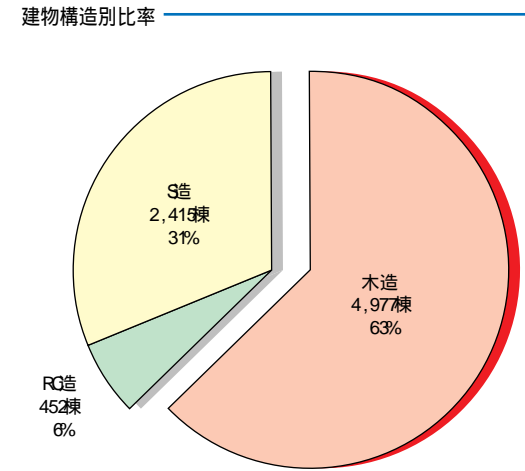
国府地区は、人口12697人、世帯数4680世帯であり、鈴鹿市で人口・世帯数ともに4番目に多い地区であるが、人口密度は市の平均値を下回る。

また、男女比では約1000人男性が上回り、市では男性の比率が最も高い地区である。

年齢別人口をみると、生産年齢人口は9142人(72%)、年少人口は2158人(17%)、高齢人口は1397人(11%)となっている。

年齢別の比率は、生産年齢人口の比率が市の平均比率よりも高く、年少・高齢人口の比率が低い傾向にある。

● 建物関連指標



地区の建物総数は、784棟であり市内で3番目に多い地区である。

建物の構造をみると、木造建物が497棟(63%)あり、次いでS造建物の2415棟(31%)、RC造建物の452棟(6%)で構成され、市全体と比較してS造建物の比率が高く、RC建物の比率は平均的で木造建物の比率が低い。

木造建物497棟のうち2138棟(43%)は、昭和46年以前に建てられている。なお、4階以上の中高層建物は、地区内に2棟ある。

● 危険物施設..... 51 箇所

危険物製造所	箇所	危険物貯蔵所	23箇所	危険物取扱所	27箇所
--------	----	--------	------	--------	------

● 中高層建物(4階以上)..... 27 棟(鈴鹿市全体 360棟)

● 地震被害想定 三重県地域防災計画被害想定調査報告書抜粋

鈴鹿東縁断層帯モデル(内陸直下地震)

町名	平均震度	地表面最大加速度	地表面最大速度	り災証明全壊住宅数	炎上出火箇所数	死亡者数	最悪死亡者数	負傷者数	長期避難者数	急傾斜地崩壊数	ガスパイプ破損数	上水道管破損数
八野町	6.2	804	91	38	0	2	7	14	187	0	0	4
国府町	6.1	746	79	509	6	21	66	129	1,843	1	1	44
平野町	6.2	803	91	162	2	6	19	48	516	0	0	16
住吉一~五丁目	6.2	767	86	575	7	18	56	143	1,565	0	1	49